

IEEE C37.90.1-2012規格対応

# 減衰振動波試験器

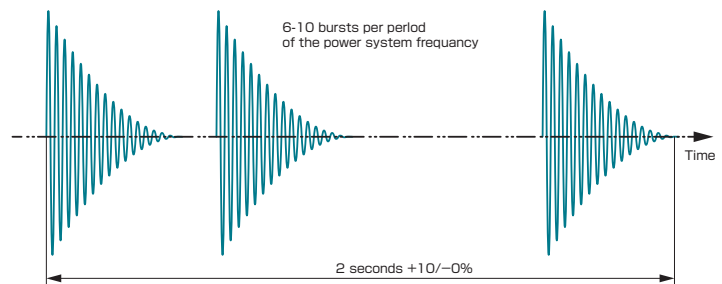
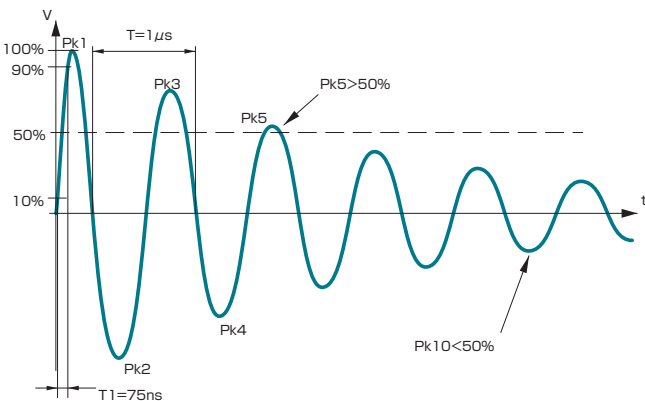
- IEC 61000-4-18 (2006) 規格に準拠した試験ができます。
- 電力規格B-402(2007)規格に準拠した試験ができます。
- IEEE C37.90-2012 規格に準拠した試験ができます。
- 最大3kVの電圧を出力し、余裕のある試験ができます。
- タッチパネルの採用で視認性に優れた設定画面。
- 試験器内部でCOMMONモード/ノーマルモードの切替えや、印加相の切替ができます。
- カップリングバランを用いる事で、IEEE C37.90-2012 規格に準拠したノーマルモード試験も実施することができます。
- 電源ラインCDN(AC240V/DC125V 20A)を内蔵しています。



## 仕様

### ■ 試験器本体

項目	性能
出力波形	低周波減衰振動波 (Slow Damped Oscillatory Wave) フローティング出力
出力電圧	250V ~ 3000V +0% / -10% 1Vステップ
短絡電流	1.25A ~ 15A ±20%
発振周波数	1MHz±10%
繰返し周波数	400 / 480Hz±1% 400Hz=8回/商用周波数50Hzの1周期 (非同期) 480Hz=9.6回/商用周波数50Hzの1周期 (非同期) 400Hz=6.7回/商用周波数60Hzの1周期 (非同期) 480Hz=8回/商用周波数60Hzの1周期 (非同期)
電圧波形減衰率	第5ピークは第1ピークの50%超、 第10ピークは第1ピークの50%未満 (第3.5から第5.5周期の間でピーク値の50%)
立上り時間	75ns ±20% (10%~90%間)
出力インピーダンス	200Ω±20%
出力極性	正極性、または負極性
印加時間	1s ~ 999s +10% / -0% (1sステップ) 及び連続
結合コンデンサ	0.5μF±20%
CDN電源容量	単相/三相AC 240V / 20AもしくはDC 125V / 20A
印加相	ノーマルモードL1 / L2 / L3 / N相間 COMMONモードL1 / L2 / L3 / N相-PE間、L1,L2,L3相同時印加-PE間、L1,L2,L3.N相同時印加-PE間
減結合コイル	1.5 mH以下
外形寸法/質量	(W)430 mm×(H)515 mm×(D)500 mm (突起部を含みます) 約 53 kg



※掲載している商品の仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。